I-O DATA

キャプチャボード

GV-MVP/RXLE

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

151162-01

もくじ

お読みになる前に 2
必ずお守りください 3

はじめに 9

箱の中には 10
動作環境 12
対応機種および対応OS 12
接続できる映像機器 13
各部の名称・機能 14

使えるようにしよう 15

ドライバをインストールしよう 16
取り付けよう 17
スロットカバーの取り替え 18
パソコンへの取り付け 20
アンテナとの接続 21
映像機器との接続 23
認識させよう 24
確認しよう 25
ソフトウェアをインストールしよう 26
録画予約実行の準備 28
mAgicTVの初期設定をしよう 29

使ってみよう 31

テレビ／ビデオを見る 32
録画する 34
再生する 35
I-O DATA mAgicTVについて 36
I-O DATA mAgicTVとは 36
それぞれの起動方法 37

困った時には 39

付録 45

サポートソフトの削除 46
ドライバの削除 46
mAgicTVの削除 47
サービス品のソフトウェア 48
入っているソフトウェア 48
インストール方法 48
サービス品についてお問い合わせ 49
別売オプション品 50
仕様 51

お問い合わせ 52
修理について 55

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-MVP/RXLE
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System

※ 本書内のOSは、全て日本語版を指します。

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け・取り外し・移動の際は、パソコン・周辺機器の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源コードを AC コンセントに差したまま行うと、感電および故障の原因となります。



本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



Memo

はじめに

箱の中には …… 10
箱の中のものを確認します。

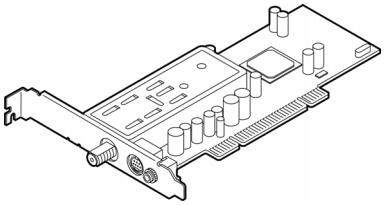
動作環境 …… 12
本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 …… 14
スイッチなどの名前と機能を説明します。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□ **キャプチャボード(1枚)**
［GV-MVP/RXLE］



□ **Sビデオ変換アダプター※(1個)**

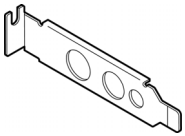


※ 本製品以外ではご利用になれません。

□ **スロットカバー用工具(1個)**



□ **ロープロファイル用スロットカバー(1個)**



□ **GV-MVP/RXシリーズサポートソフト(1枚)**［CD-ROM］



- ドライバ
- I-O DATA mAgicTV4.2 for GV-MVP/RXシリーズ
- InterVideo WinDVD Creator 2
- B.H.A XVD Encoder plus 機能制限版
- reserMail
- Adobe Reader
- DirectX 9

☑ **GV-MVP/RXLE取扱説明書 (1冊)**［本書］

□ **ハードウェア保証書(1枚)**

シリアル番号をメモしてください

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

※ シリアル番号は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●ダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

参考

箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

WinDVD Creator 2, XVD Encoder plus 機能制限版, reserMailについて

【サービス品のソフトウェア】(48ページ)をご覧ください。

注意

WinDVD Creator 2のシリアル番号について

WinDVD Creator 2のシリアル番号がサポートソフトのケースに記載されています。
インストールやユーザー登録に必要ですので、紛失しないように大切に保管してください。下の欄にメモすることをおすすめします。



シリアル番号

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応 OS

対応機種	DOS/Vマシン※1, NEC PC98-NXシリーズ
対応OS	Windows XP※2, Windows 2000
CPU※3	Intel Celeron 600MHz以上, Pentium Ⅲ 600MHz以上, Pentium 4 AMD Athlon 600MHz以上, Duron
メモリー	128Mバイト以上※4
ハードディスク	500Mバイト以上の空き容量※5※6 （NTFSファイルシステム推奨）
Windowsグラフィック アクセラレーター※7	解像度：1024×768ドット以上 画面の色：16ビットハイカラー以上 DirectX 9以上に対応した環境※8
サウンド	必須
CD-ROMドライブ	インストール時に必要
PCIバススロット	PCI Rev.2.2以降のPCIバススロットが１つ必要

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※2 「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。「ユーザーの切り替え」を行う場合は、あらかじめ本製品に添付のソフトウェアを全て終了させてください。
※3 記載されているCPU以外には対応しておりません。
※4 マザーボード上にグラフィックアクセラレーター機能を搭載している場合、メモリーを一部使用するため、より多くのメモリーが必要となる場合があります。
※5 ATAハードディスクの場合、Ultra DMA転送に対応したものをお使いください。
※6 録画保存用には、別途標準画質で1分につき約32Mバイト必要です。
※7 種類やVRAMの容量によって表示条件（解像度、色数、リフレッシュレートなど）が制限される場合があります。
また、ダイレクトオーバーレイ機能は一部モデルでは動作しない場合があります。
※8 サポートソフトからDirectX 9をインストールすることができます。

他のキャプチャ製品との併用はできません
他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

DVD-R/RW, DVD+R/RWドライブ
本製品を使ってDVDを作成する際は、DVD-R/RW, DVD+R/RWドライブが必要です。

本項条件に適合するすべての環境にて動作保証するものではありません。
また、本項条件に適合する環境であっても、グラフィックアクセラレータやハードディスクなどの性能により、コマ落ち等が発生する場合があります。

接続できる映像機器

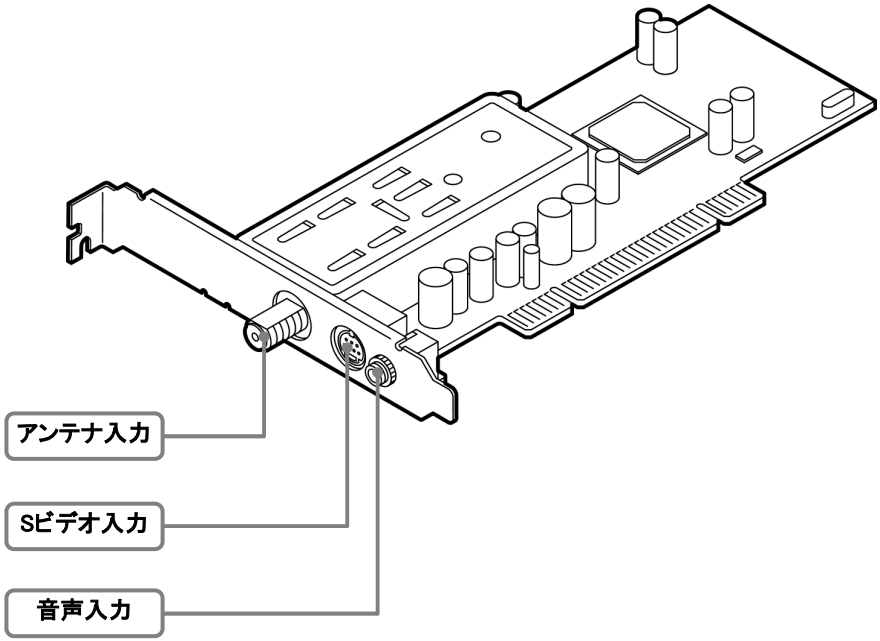
接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはコンポジットケーブルまたはSビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器

・一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
・著作権保護機能が入っている映像（DVDソフトなど）は録画できません
・実際の入力映像より、数秒遅れて表示される場合があります
あらかじめご了承ください。

各部の名称･機能

コネクタなどの名前と機能を説明します。

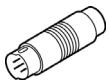


アンテナ入力	アンテナ線を接続します。
Sビデオ入力	映像機器からの映像を入力します。
音声入力	映像機器からの音声を入力します。

参考

Sビデオ変換アダプター

本製品のSビデオ入力に接続することで、ビデオ入力に変換します。
Sビデオを使えないときにお使いください。



使えるようにしよう

ドライバをインストールしよう…… 16

↓

取り付けよう…… 17

↓

認識させよう …… 24

↓

確認しよう…… 25

↓

ソフトウェアをインストールしよう …… 26

↓

録画予約実行の準備…… 28

↓

mAgicTVの初期設定をしよう…… 29

↓

これで準備は完了です

ドライバをインストールしよう

ドライバのインストールをします。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

注意

まだ本製品を接続しないでください

【取り付けよう】(17ページ)で接続します。

1 サポートソフトを挿入します。

GV-MVP/RXシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。

⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない

①「マイコンピュータ」を開きます。

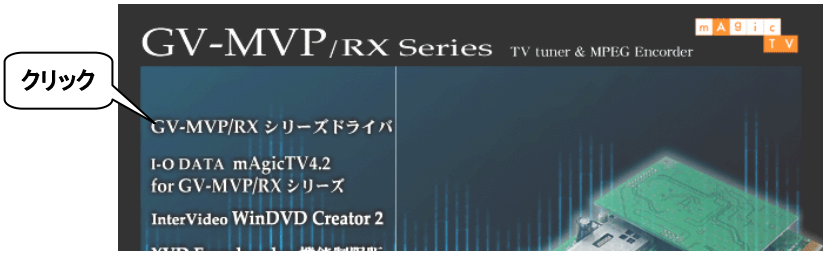
②［GVMVPRX］→［GVMVPRX］の順にダブルクリックします。

⇒メニューが表示されます。

2 [GV-MVP/RXシリーズドライバ]をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。

画面の指示に従ってインストールしてください。



参考

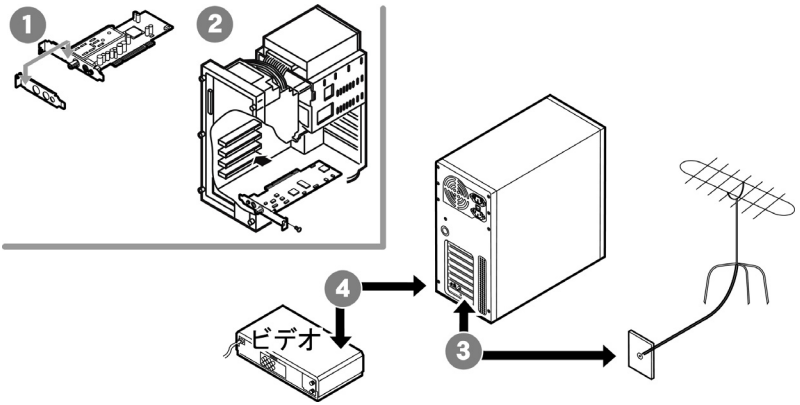
インストール後、Windowsを終了します

パソコンの電源を切る前に、サポートソフトを取り出してください。

ドライバはインストールされました。

取り付けよう

本製品を接続する手順を説明します。



シリアル番号はメモしましたか？

シリアル番号は、本製品に貼られているシールに記載されています。
本製品を取り付ける前に、【シリアル番号をメモしてください】(11ページ)にメモしてください。

参考

作業する前に

本製品には「アンテナケーブル」、「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器について

本製品には、映像機器に対して入力を持っています。
映像機器は、本製品に映像を入力するための機器を指します。
（ビデオデッキなど）

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

あらかじめご了承ください。

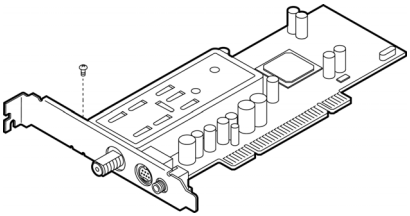
1 スロットカバーの取り替え

ロープロファイルPCIバススロットに本製品を取り付ける場合は、スロットカバーの取り替えが必要です。
その場合は、下の作業を行ってください。

参考

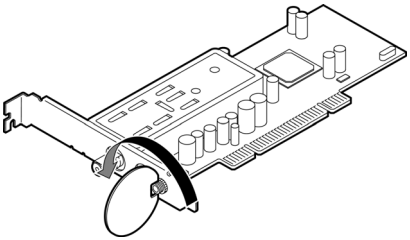
普通のPCIバススロットに本製品を取り付ける場合
この作業は必要ありません。20ページへ進んでください。

1 ネジを取り外します。



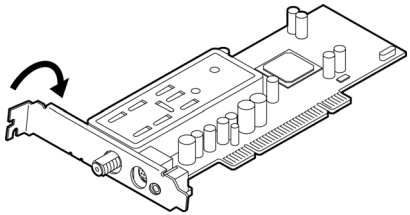
2 音声入力部分の金具を取り外します。

音声入力部分の金具を、スロットカバー用工具で反時計回りに回し、取り外してください。



3 スロットカバーを基板面から浮かすようにして取り外します。

ネジ穴のある部分が基板面をひっかかないように、傾けて取り外します。

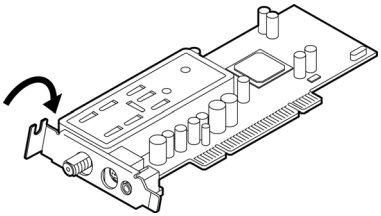


参考

取り外したスロットカバー
取り外したスロットカバーは使いません。
無くさないように保管してください。

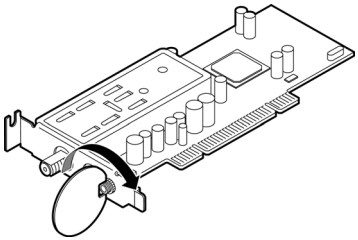
4 スロットカバーを基板面から浮かすようにして取り付けます。

ネジ穴がある部分が基板面をひっかかないように、傾けて取り付けます。



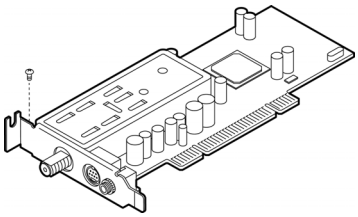
5 音声入力部分の金具を取り付けます。

音声入力部分の金具を、スロットカバー用工具で時計回りに回し、取り付けてください。



6 スロットカバーをネジで固定します。

固定するときは、手順 *1* で取り外したネジを使います。



参考

取り外したスロットカバーに戻す場合

本作業を読み替えて行ってください。

2 パソコンへの取り付け

1 パソコンの周辺機器およびパソコンの電源を切ります。

2 パソコンの電源ケーブルを電源コンセントから抜きます。

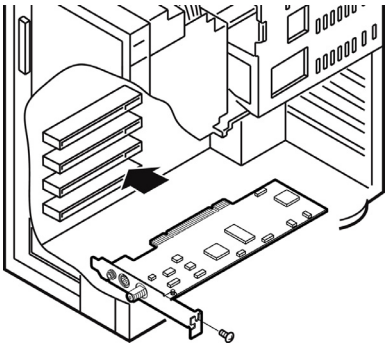
3 パソコンのカバーを取り外します。

方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 PCIバススロットのカバーを取り外します。

5 本製品を取り付けます。

・本製品がPCIバススロットに正しく差し込まれたことをご確認ください。
・パソコンによって取り付け位置が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



6 本製品をネジで固定します。

ネジはPCIバススロットカバーのものをお使いください。

7 パソコンのカバーを元に戻します。

パソコンの電源ケーブルも、元に戻してください。

3 アンテナとの接続

参考

テレビを受信しない方へ

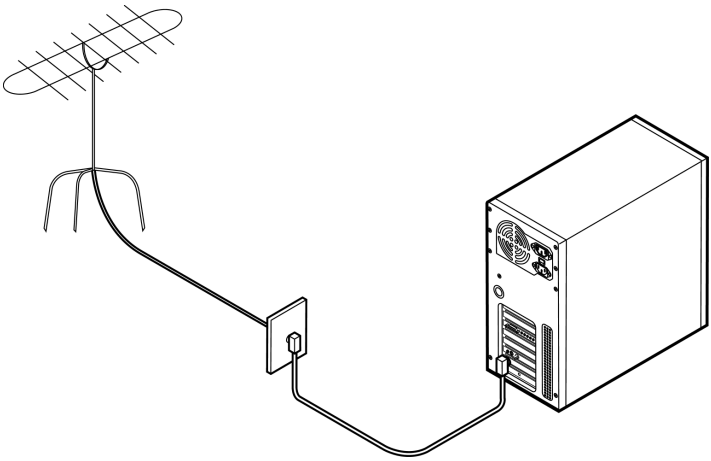
ここの作業は、本製品でテレビ番組を受信する方のみ必要です。
外部入力のみお使いになる場合は、アンテナとの接続は必要ありません。

外部アンテナに接続されたアンテナ線をお使いください

室内アンテナや共同アンテナでは電波がきれいに受信できない場合があります。

●テレビアンテナと接続する

本製品の「アンテナ入力」に「アンテナ線」を接続します。



参考

地上デジタル／衛星放送は受信できません

ご了承ください。

CATVの場合、専用チューナーへの接続を必要とする場合があります

次ページの接続方法をご覧ください。

●ケーブルテレビの専用チューナーと接続する

参考

この場合、映像機器は接続できません

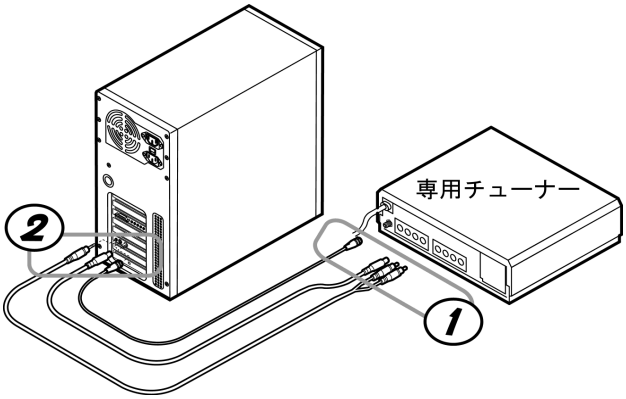
映像機器を接続したい場合は、専用チューナーを取り外してください。

1 専用チューナーにケーブルを接続します。

・「ケーブル出力」に「アンテナケーブル」を接続します。
・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「アンテナ入力」に「アンテナケーブル」を接続します。
・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。



参考

Sビデオで接続できない場合

「Sビデオ入力」に「Sビデオ変換アダプター」を接続することで、そこに「コンポジットケーブル」を接続することもできます。

この方法で接続した場合

・ケーブルテレビを見るには、専用チューナーを接続したビデオ入力を選ぶ必要があります。
・ケーブルテレビのチャンネルはチューナー側で変更してください。

4 映像機器との接続

参考

映像機器からの映像を入力しない方へ

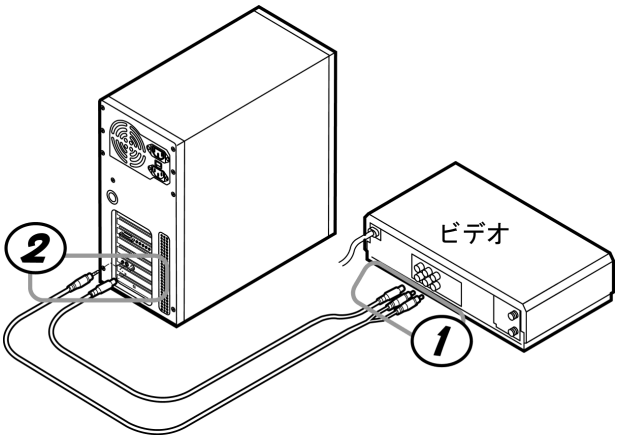
ここの作業は、本製品に映像を入力する方のみ必要です。
映像を入力しない場合は、映像機器との接続は必要ありません。

1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

・「音声入力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ入力」に「Sビデオケーブル」を接続します。



参考

Sビデオで接続できない場合

「Sビデオ入力」に「Sビデオ変換アダプター」を接続することで、そこに「コンポジットケーブル」を接続することもできます。

本製品の取り付け作業は完了しました。

認識させよう

本製品をWindows上で使えるようにする手順を案内します。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトが取り出されていることを確認します。

サポートソフトが挿入されている場合は、取り出してください。

2 Windowsを起動します。

⇒本製品がWindowsに認識され、インストールの画面が表示されます。

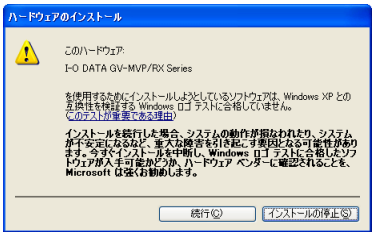
3 認識画面の指示に従って、インストールします。

参考

下のような画面が表示されます

［続行］ボタンまたは［はい］ボタンをクリックしてください。
⇒インストールが続行されます。

これは、マイクロソフト株式会社がWHQLという組織において、認定手続きを実施しているものです。
本製品は、認定を受けておりませんが、問題なくお使いいただけます。





確認しよう

本製品を正しく使える状態になっているかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
②［システム情報を表示する］をクリックします。

Windows 2000の場合

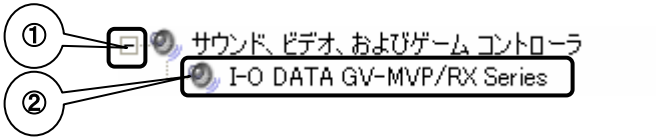
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

①［ハードウェア］タブをクリックします。
②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 本製品を確認します。

① ［サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。
② 本製品のドライバを確認します。
［I-O DATA GV-MVP/RX Series］



本製品のドライバがない
【本製品のドライバが表示されない】（40ページ）

4 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

確認作業は完了しました。

ソフトウェアをインストールしよう

ソフトウェアのインストールをします。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

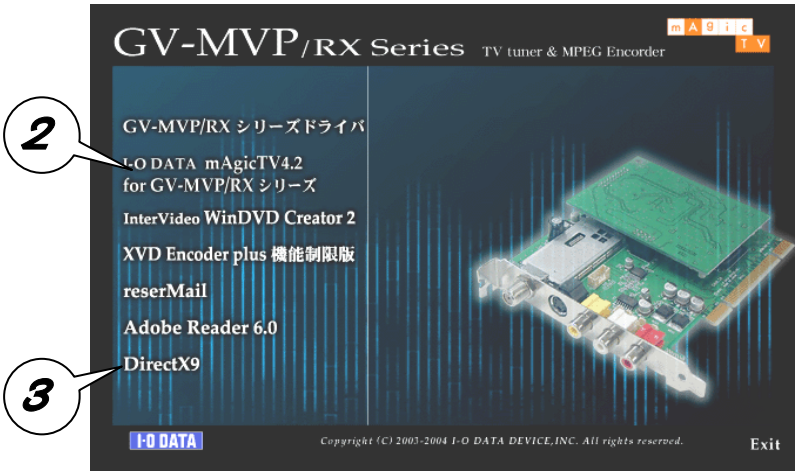
1 サポートソフトを挿入します。

GV-MVP/RXシリーズサポートソフトを
CD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない

①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVMVPRX］→［GVMVPRX］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。



2 **[I-O DATA mAgicTV4.2 for GV-MVP/RXシリーズ]をクリックします。**

⇒「I-O DATA mAgicTV4.2 for GV-MVP/RXシリーズ」のインストールが始まります。

画面の指示に従ってインストールしてください。



インストール後、再起動されます

この後の手順をご覧になり、必要であればもう一度サポートソフトメニューを起動してください。

3 **DirectXが9未満の場合は、[DirectX9]をクリックします。**

⇒「DirectX 9」のインストールが始まります。

画面の指示に従ってインストールしてください。



インストール後、再起動されます

この後の手順をご覧になり、必要であればもう一度サポートソフトメニューを起動してください。

他のソフトウェア

詳しくは、【サービス品のソフトウェア】(48ページ)をご覧ください。

メニューを閉じる

[Exit] をクリックしてください。

4 **サポートソフトを取り出します。**

ソフトウェアはインストールされました。

録画予約実行の準備

録画予約を実行できる状態にします。
この設定が行われていないと、録画予約の実行に失敗するおそれがあります。

1 「画面のプロパティ」を開きます。

Windowsのデスクトップを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックしてください。

2 ［スクリーンセーバー］タブをクリックします。

3 「パスワードによる保護」を確認します。

「パスワードによる保護」にチェックがついていた場合は、チェックを外してください。

参考

「パスワードによる保護」の代わりに「再開時にようこそ画面に戻る」がある
そちらのチェックを外してください。

4 ［電源］ボタンをクリックします。

⇒「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

5 ［詳細設定（詳細）］タブをクリックします。

6 パスワードの設定を確認します。

［スタンバイ（状態）から回復するときにパスワードの入力を求める］があるかを確認します。ある場合は、それのチェックを外してください。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒「電源オプションのプロパティ」画面が閉じます。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［画面のプロパティ］が閉じます。
これで設定は完了です。

mAgicTVの初期設定をしよう

mAgicTVの初期設定をします。

参考

作業をする前にアンテナを確認してください
正しい設定のために必要です。

1 mAgicTV初期設定を起動します。

デスクトップ上の［mAgicTV初期設定］アイコンをダブルクリックします。



2 チャンネルを設定します。

① 「地域選択」で、現在の都道府県および地域を設定します。
② 「チャンネル設定」内のチャンネルが問題ないことを確認します。
③ ［次へ］ボタンをクリックします。



参考

オートスキャン

［開始］ボタンをクリックすることで、自動的にチャンネルを検索します。検索されたチャンネルを「チャンネル設定」にドラッグ＆ドロップすることで、そのチャンネルを追加できます。

チャンネル設定の変更

- **［追加］ボタン**　クリックすると、新しいチャンネルを追加できます。
- **［変更］ボタン**　クリックすると、選択されたチャンネルを変更できます。
- **［削除］ボタン**　クリックすると、選択されたチャンネルが削除されます。
- **［デフォルトに戻す］ボタン**
  クリックすると、選択された地域の初期状態に戻ります。

3 デバイスの設定と確認をします。

① 「使用するサウンドデバイス」を選択します。

② ［サンプル音声再生］ボタンをクリックし、音声が聞こえることを確認します。

③ ［映像］ボタンの右にあるチャンネルを選択します。

④ ［映像］ボタンをクリックし、映像が映ることを確認します。

⑤ ［完了］ボタンをクリックします。

⇒初期設定は完了です。

デスクトップに各種アプリケーションのアイコンが作られます。



参考

音声が聞こえない

【mAgicTVの初期設定でサンプル音声再生が聞こえない】(41ページ)をご覧ください。

映像が映らない

【mAgicTVの初期設定で映像が映らない】(42ページ)をご覧ください。

mAgicTVの初期設定は完了しました。

【使ってみよう】(31ページ)をご覧になり、各種機能をお楽しみください。

使ってみよう

テレビ／ビデオを見る …… 32

録画する …… 34

再生する …… 35

I-O DATA mAgicTVについて …… 36

参考

それぞれの機能の詳細についてはヘルプをご覧ください

ヘルプには、各機能の使い方や活用例などが説明されています。

テレビ／ビデオを見る

まずは、テレビ／ビデオ（映像機器からの映像）を見る方法を説明します。

1 mAgicTVを起動します。

デスクトップ上の［mAgicTV］アイコンをダブルクリックします。



注意

アイコンがない場合

はじめてmAgicTVを起動するときは、その前に初期設定が必要です。
【mAgicTVの初期設定をしよう】(29ページ)をご覧ください。

2 「ライブモード」に設定します。

ライブモードボタンをクリックします。



3 映像機器からの映像を見る場合は、映像機器の電源を入れます。

ビデオデッキなどの場合は、再生を行ってください。
本製品に映像が入力されている必要があります。

4 チャンネルを変えます。

⇒テレビ／ビデオを見ることができます。

テレビを見る場合

番組表ウィンドウのチャンネルボタンをクリックします。



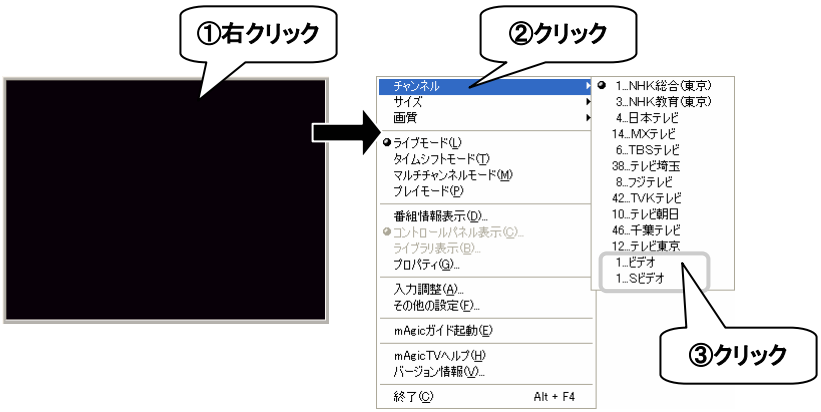
ビデオ(映像機器からの映像)を見る場合

右クリックメニューのチャンネルを選びます。

① プレビュー画面を右クリックします。
⇒右クリックメニューが表示されます。

② ［チャンネル］をクリックします。

③ 映像機器を接続したビデオ入力を選びます。



注意

映像機器からの映像を表示する場合

- 一部の映像機器（ゲーム機など）の映像は正しく表示されないことがあります。
- ビデオ映像を表示したとき、画面下部に数ミリのちらつきが表示されることがありますが、異常ではありません。

録画する

1 録画する映像を表示します。

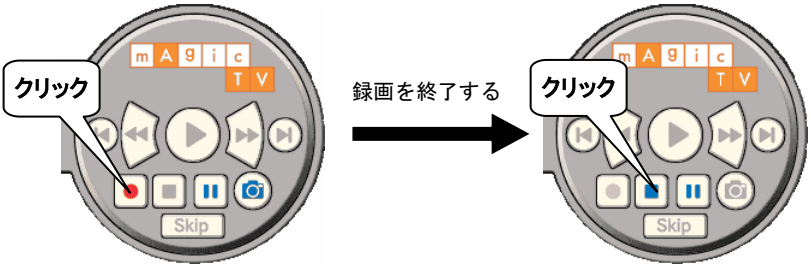
方法については、【テレビ／ビデオを見る】(32ページ)をご覧ください。

参考

録画の設定について

録画していないときに録画ボタンを右クリックすることで、録画する画質などを設定できます。

2 録画します。



参考

最大録画時間

連続で約6時間まで録画可能です。
それ以上の録画を行いたい場合は、一度録画を停止し、再度録画を行ってください。

録画した映像を見る

【再生する】(35ページ)をご覧ください。

録画予約について

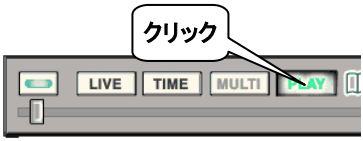
mAgicTVでは録画予約をすることもできます。
詳しくは、mAgicTVのヘルプをご覧ください。

再生する

録画した映像を再生する方法を説明します。

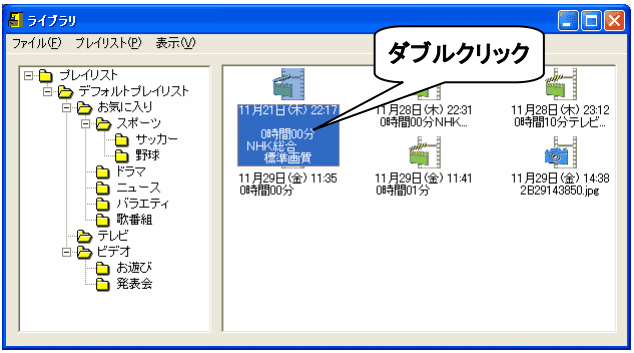
1 mAgicTVを起動します。

2 「プレイモード」に設定します。



3 再生したい映像を選びます。

表示されたライブラリ画面内の再生したい映像をダブルクリックします。
⇒映像が再生されます。



I-O DATA mAgicTVについて

I-O DATA mAgicTVについて説明します。

I-O DATA mAgicTV とは

I-O DATA mAgicTVは、「mAgicTV」「mAgicガイド」「mAgicマネージャ」を総合したアプリケーションの名前です。

mAgicTV

テレビを見ることができるアプリケーションです。
タイムシフト機能を搭載し、放送中の番組をビデオ映像のように巻き戻したりすることができます。
また、録画したり、録画した映像を再生することもできます。

mAgicガイド

番組表を見られるアプリケーションです。
番組表から録画予約したり、好きな番組を検索することもできます。

mAgicマネージャ

録画予約の管理を行うアプリケーションです。
mAgicマネージャがタスクバーに常駐していないと、録画予約の実行、番組表データの自動受信、リモコン操作などを行うことができません。

参考

それぞれの機能の詳細についてはヘルプをご覧ください
ヘルプには、各機能の使い方や活用例などが説明されています。

それぞれの起動方法

● mAgicTV

デスクトップ上の［mAgicTV］アイコンをダブルクリックします。



● mAgicガイド

mAgicTVが起動している場合



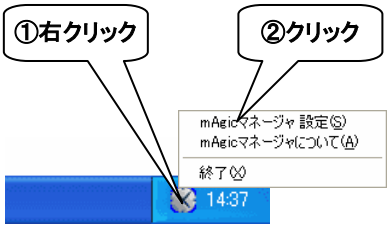
mAgicTVが起動していない場合

デスクトップ上の［mAgicガイド］アイコンをダブルクリックします。



● mAgicマネージャ

右下のタスクトレイ内にあるアイコンを右クリックし、［mAgicマネージャ設定］をクリックします。



Memo

困った時には

参考

mAgicTV、mAgicガイド、mAgicマネージャについては
ヘルプもご覧ください

ヘルプにそれぞれの問題と解決方法が記載されています。
そちらもご覧になり、問題解決にお役立てください。

本製品のドライバが表示されない…… 40

・オートスキャン機能でCATVのチャンネルが見つからない
・CATVのチャンネルを設定しても、番組を受信できない…… 40

mAgicTVの初期設定でサンプル音声再生が聞こえない…… 41

mAgicTVの初期設定で映像が映らない…… 42

mAgicTV起動時に「オーバーレイミキサーの接続に失敗
しました」と表示される…… 43

mAgicTVを起動できない…… 43

Windows標準のWindows Messengerや NetMeetingなどで
本製品を使うことができない…… 44

他のキャプチャソフト(WinDVD Creator 2など)でキャプチャ
できない…… 44

本製品のドライバが表示されない

原因1 取り付けに問題がある

・【取り付けよう】(17ページ)をご覧になり、本製品の取り付けをご確認ください。
・取り付けるPCIバススロットを変えてみてください。
・PCIバススロットに本製品のしっかりと取り付けられていることを確認してください。

原因2 本製品が正しく認識されていない

① 【確認しよう】の手順3 (25ページ)をご覧になり、本製品があるか、「！」マークが付いていないかを確認します。
また、［不明なデバイス］が無いかを確認します。
※［その他のデバイス］の下もご覧ください。
② 「！」マークが付いていたり、【不明なデバイス】があった場合は、それを削除します。
③ 【ドライバをインストールしよう】(16ページ)をご覧になり、 GV-MVP/RXシリーズドライバをインストールしてください。

・オートスキャン機能でCATVのチャンネルが見つからない
・CATVのチャンネルを設定しても、番組を受信できない

原因 専用チューナーが必要なCATV放送である

その場合は、【●ケーブルテレビの専用チューナーと接続する】(22ページ)をご覧になり、正しく接続してください。

また、番組表示には外部入力をお使いください。
チャンネル変更は、専用チューナー側で行ってください。

mAgicTVの初期設定でサンプル音声再生が聞こえない

原因1 **スピーカーがつながっていない**

パソコンとスピーカーがつながっているかを確認してください。

原因2 **音声が小さい／ミュートになっている**

初期設定の画面(30ページ)内にある［ボリューム］を上げ、［ミュート］にチェックが付いている場合は、外してください。

原因3 **Windows自体のボリュームが小さい**

他のアプリケーションなどで音声を確認してください。
音が聞こえない場合は、Windowsのボリューム（「メイン」「WAVE」）を大きくしてください。

原因4 **普段使っているものと違うサウンドデバイスを使おうとしている**

初期設定の画面(30ページ)内にある［使用するサウンドデバイス］を変更してください。

原因5 **サウンドデバイスが正しく設定されていない**

mAgicTVの初期設定で映像が映らない

原因1 アンテナケーブルが正しく接続されていない

【アンテナとの接続】(21ページ)をご覧になり、アンテナケーブルの接続を確認してください。

原因2 チャンネルが正しく設定されていない

初期設定の画面(30ページ)内にある［戻る］ボタンをクリックし、チャンネルの設定(29ページ)を行ってください。
プリセットの設定と異なる場合もあります。
その場合は、オートスキャン機能をお使いください。

原因3 外部入力の場合、映像機器が再生状態ではない

映像機器の電源を入れてください。
ビデオなどの場合は、再生状態にしてください。

原因4 外部入力の設定が正しくない

映像機器が接続されている端子と異なる外部入力を選んでいます。別の外部入力に変更してみてください。

原因5 インストールしたドライバが正しく動作していない

① 【サポートソフトの削除】(46ページ)をご覧になり、GV-MVP/RXシリーズドライバの削除を行います。
② 【ドライバをインストールしよう】(16ページ)をご覧になり、GV-MVP/RXシリーズドライバをインストールしてください。

mAgicTV起動時に「オーバーレイミキサーの接続に失敗しました」と表示される

原因　パソコンのグラフィック環境に問題がある

対処としては、下の内容が考えられます。

Windowsの解像度・色数を減らしてみる

①「画面のプロパティ」を開きます。

②［設定］タブで設定します。

※ 解像度・色数を、必要動作環境より下に設定しないでください。

ハードウェアアクセラレータを最大にする

①「画面のプロパティ」を開きます。

②［設定］→［詳細］→［トラブルシューティング］で設定します。

グラフィックのドライバを最新のものにする

ドライバの入手方法、更新方法などについては、パソコンメーカーもしくはグラフィックカードのメーカーにお問い合わせください。

参考

「画面のプロパティ」の開き方

Windowsのデスクトップを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

mAgicTVを起動できない

原因　ハードディスクの空き容量が足りない

OSがインストールされているハードディスクの空き容量を確認し、空き容量が足りない場合はいらないファイルなどを消して、500Mバイト以上の容量を空けてください。

Windows標準のWindows Messengerや NetMeetingなどで本製品を使うことができない

原因 **対応していない**

本製品はWindows MessengerやNetMeetingなどのビデオチャット用アプリケーションには対応しておりません。

他のキャプチャソフト(WinDVD Creator 2など)でキャプチャできない

原因 **本製品を他のソフトから利用できない**

本製品は他のキャプチャソフトから利用できません。
キャプチャをする場合は、mAgicTVをお使いください。

付録

サポートソフトの削除……46

サービス品のソフトウェア……48

別売オプション品……50

仕様……51

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

参考

サービス品のソフトウェアの削除
各ソフトウェアのオンラインマニュアルなどをご覧ください。

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

ドライバの削除

1 サポートソフトを挿入します。

GV-MVP/RXシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVMVPRX］→［GVMVPRX］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

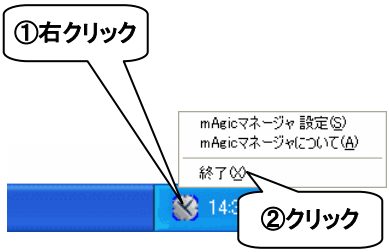
2 ［GV-MVP/RXドライバ］をクリックします。

⇒インストール画面が表示されますので、［アンインストール］を選んで［OK］ボタンをクリックしてください。
ドライバのアンインストールが始まります。
作業が終わりましたら、再起動を要求されます。再起動してください。

mAgicTV の削除

1 mAgicマネージャを終了します。

右下のタスクバー内にあるアイコンを右クリックし、［終了］をクリックします。



2 コントロールパネルを開きます。

［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 ［プログラム（アプリケーション）の追加と削除］を起動します。

「プログラム（アプリケーション）の追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

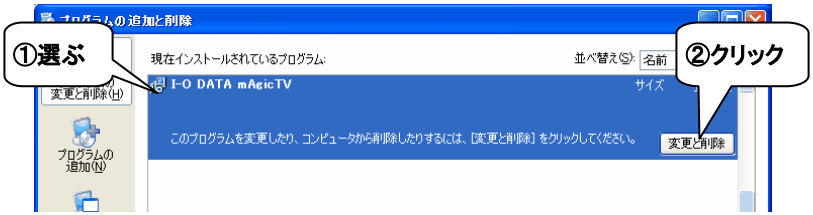
4 ［I-O DATA mAgicTV］を選び、削除します。

①［I-O DATA mAgicTV］を選びます。

②［変更と削除］または［追加と削除］ボタンをクリックします。

⇒mAgicTVの削除が開始されます。

画面の指示に従って削除してください。



サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

● WinDVD Creator 2

WinDVD Creator 2は複雑な使い方を覚えずに、オリジナルDVD制作が可能です。
編集、タイトルの挿入、トランジション、オーディオの挿入、DVDメニュー作成 を４つのステップで実現、DVD（またはVCD,SVCD)への書込過程をこれ１本で実現できます。

● XVD Encoder plus 機能制限版

MPEG, AVIなどの動画をXVD形式にエンコードするソフトウェアの機能制限版です。
複数のファイルを登録することで連続してエンコードタスクを実行できるほか、エンコードの詳細なパラメータを設定したり、プラグインを利用することができます。



製品版との違いについて

下記の方法で、機能の制限について記載したpdfを見ることができます。

① XVD Encoder plus 機能制限版をインストールします。

② [スタート] → [(すべての) プログラム] → [B.H.A] → [XVD Encoder plus 機能制限版] → [XVD Encoder plus 機能制限版アップグレードについて] の順にクリックします。

● reserMail

外出先のパソコンや携帯電話（iモード、Vodafone live!、EZweb）から、自宅のパソコンに録画予約できます。

インストール方法

サポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

サービス品についてお問い合わせ

お問い合わせは弊社では受け付けておりません。
下記の案内先までお問い合わせください。

ソフトウェア	お問い合わせ案内
WinDVD Creator 2	【WinDVD Creator 2について】(53ページ)
XVD Encoder plus 機能制限版	【XVD Encoder plusについて】(54ページ)
reserMail	【reserMailについて】(53ページ)

別売オプション品

本製品には、下記のような別売オプション品がございます。
お買い求めの上、本製品と併せてお使いください。

■ GV-MVP/RCkit ～ 本製品をリモコンで操作したい方に ～

本製品をリモコンで操作することができます。





仕様

TVチューナー	受信TV ch	VHF····· 1～12ch UHF····· 13～62ch CATV····· C13～C63ch
	TV音声	ステレオ、音声多重出力(EIAJ方式)
	TV-RF入力	F型コネクタ×１
ビデオ	入出力映像方式	NTSC
	映像調整	明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさ、シャープネス、フィルターなどの調整が可能。 チャンネル周波数の微調整が可能。
	コンポジットビデオ入力	RCAピン×１ （添付のSビデオ変換アダプタにて対応）
	Sビデオ入力	ミニDIN4ピン×１
オーディオ	外部ライン入力	3.5φステレオジャック×L
MPEG圧縮	ビデオ画素数	Full D1(720×480), Half D1(352×480)
	ビデオビットレート	MPEG-2 Full D1:2～15Mbps Half D1:1～7Mbps
	オーディオビットレート	192～384kbps
	サンプリング周波数	44.1kHz, 48kHz
割り込み(IRQ)		Plug&Playによる自動設定（１つ使用）
メモリマッピング		Plug&Playによる自動設定
電源		+3.3V ±5%　+5V ±5%　+12V ±5%
消費電流(MAX)		DC+3.3V:1.1A DC+5V　:350mA DC+12V　:350mA
使用温度範囲		5～35℃
使用湿度範囲		20～80%（結露なきこと）
サイズ		約168.0mm(W)×約64.5mm(H) （スロットカバーおよび突起部含まず）
質量		約130g

お問い合わせ

本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/　**製品Q&A, Newsなど**

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/　**弊社サポートライブラリ**

2 それでも解決できない場合は･･･

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
　（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

WinDVD Creator 2 について

添付の「WinDVD Creator 2」に関するお問い合わせはインタービデオジャパン株式会社で受け付けています。

インタービデオジャパン株式会社　ユーザーサポート係

電話：　東京…03-5447-0576
　　※受付時間　9:30～12:00 13:30～17:00
　　月～金曜日
　　（夏期・年末特定休業日、祝祭日を除く）
インターネット：　http://www.intervideo.co.jp/
E-Mail：　techsupp@intervideo.co.jp



ユーザー登録について
インタービデオジャパン株式会社のホームページへ行き、［メンバーズ］から登録してください。

reserMail について

添付の「reserMail」に関するお問い合わせはADCテクノロジー株式会社で受け付けています。

ADCテクノロジー株式会社　ユーザーサポート係

E-Mail：　support@epoint.co.jp
※ お問い合わせの際は、本製品名もお知らせください。
※ お問い合わせは、E-Mailでのみ受け付けております。

XVD Encoder plus について

添付の「XVD Encoder plus 機能制限版」に関するお問い合わせは株式会社ビー・エイチ・エーで受け付けています。

株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター

FAQ：　http://dlist.bha.co.jp/cs/index.asp
※ページ内の「超圧縮 XVD plus」をクリックしてください。

インターネット：　http://www.bha.co.jp/support/madoguti/
※ページ内のオンラインサポートをクリックしてください。
※お問い合わせをいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要がございます。

TEL：06-4861-8234
受付時間：月～金曜日　10：00～17：00
土曜日　10：00～12：00、13：00～17：00
（毎月最終土曜日、夏期・年末年始・特定休業日、祝祭日を除く）

FAX：06-6378-3336

※ご回答には、2～3営業日お時間をいただく場合がございます。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATA, mAgicTVおよびmAgicTVの名称・ロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, MS, MS-DOS, Internet Explorer, DirectXは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- Celeron, Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-MVP/RXLE 取扱説明書

2004.04.27 151162-01

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.